

アンテナバラン 組立部品セット DB-110-V2

50Ω 不平衡 : 110Ω平衡 1.8MHz~60MHz

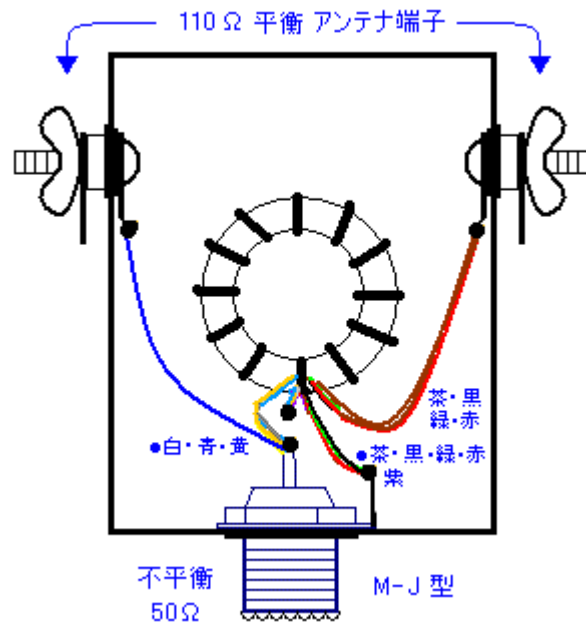
許容入力電力 : 連続 60W / CW SSB 130W

サイズ50W×75H×30Dmm(突起物を除く) 重量約 120g

||||||| 50Ω: 110Ω(112.5Ω)バランの作り方 |||||

- 0.4mm 4P(8本組線)を、コアに、12回巻きます
- その被膜線の両端末とも、3本線、4本線、1本線の3組を結線ねじり合わせます
- 巻き始めと、巻き終わり、端末配線の通り配線し、半田付けします
(結線のジョイント1ヶ所はテープなどを巻いて絶縁しておく)
- プラボックスにボルトナットM-BR(M型座)を取り付ける
- 巻いて作ったコアを、構成図のように、ボックス内に収めて結線半田付けします
- 接着剤などで、端子等をかためて、フタをして完成です

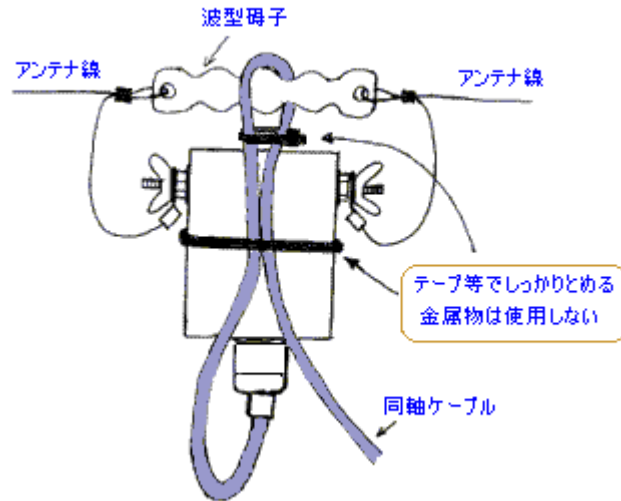
構成図



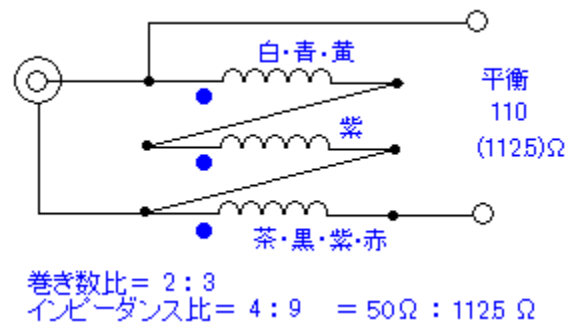
組立完成例



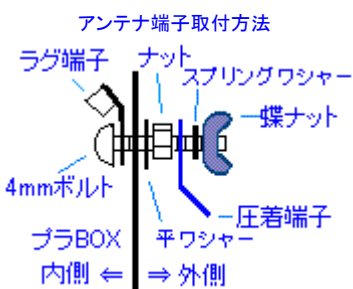
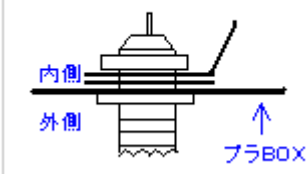
バラン取付方法



回路図



同軸接柱座MBRの取付方

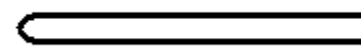


部品表

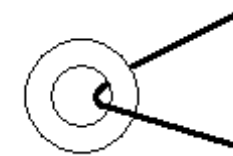
フェライトコア FT-82-43---	1
0.4mm 4P被膜線-----	40cm
M型接柱座 M-BR----	1
ステンボルトナットワッシャー	
蝶ナット、ラグ端子----	2組
プラボックス----	1
波型碼子---	1
結束バンド----	2

コアの巻き方

1、0.4mm 4P被膜線(8本組線)を半分ほどで折り返します



2、4P被膜線(8本組線)をコアに約半分の長さで通します

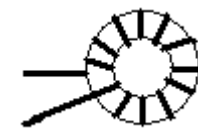


3、半分の4P被膜線(8本組線)を6回巻きます (コア内通過数)



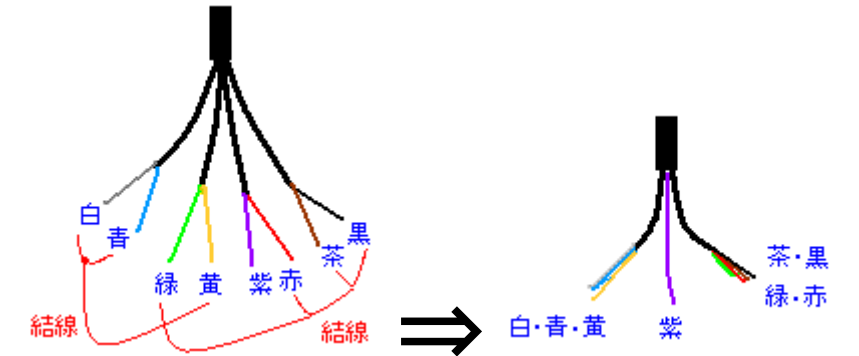
4、もう半分の4P被膜線を図のように同様に6回巻きます (コア内通過数)

合計12回巻きます



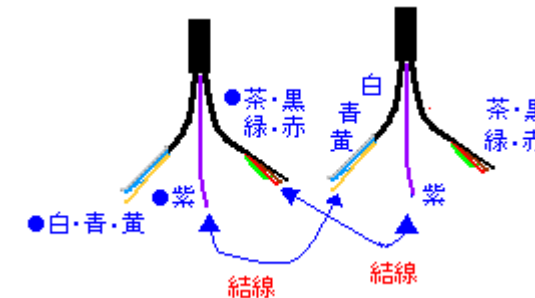
5、端末処理

コアに巻いた4P被膜線の両端末とも、下記のように結線ねじり合わせます
白、青、黄、3本線 / 茶、黒、赤、緑、4本線 を結線ねじり合わせます



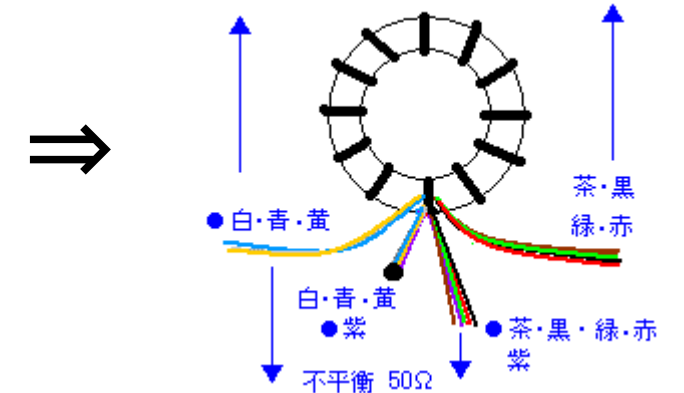
6、端末配線

ねじり合わせた4P被膜線の両端末を、下図のように巻き始め、巻き終わりを、配線結線し、ねじり合わせます

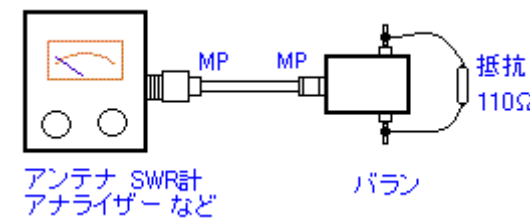


結線ジョイント1ヶ所はテープなどを巻いて絶縁します (白、青、黄、●紫線)

平衡 110 (112.5)Ω



SWR測定方法



抵抗は短く接続します (コアに直に接続した方が測定誤差は少ない)

コア完成例



有限会社 大進無線

〒410-0022 沼津市大岡 2223-14
TEL 055-925-4961 FAX 055-925-4962

URL <http://www.ddd-daishin.co.jp/>

E-mail info@ddd-daishin.co.jp